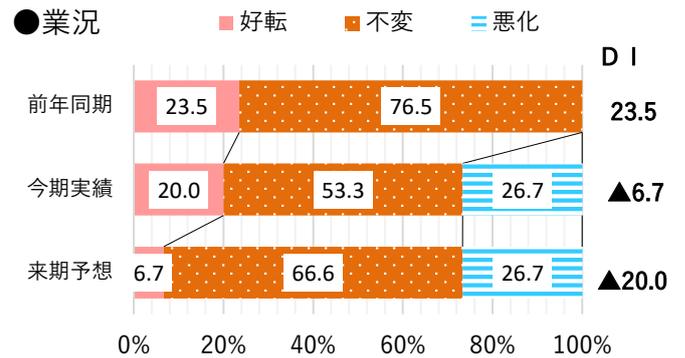


卸 売 業

業況、売上、採算

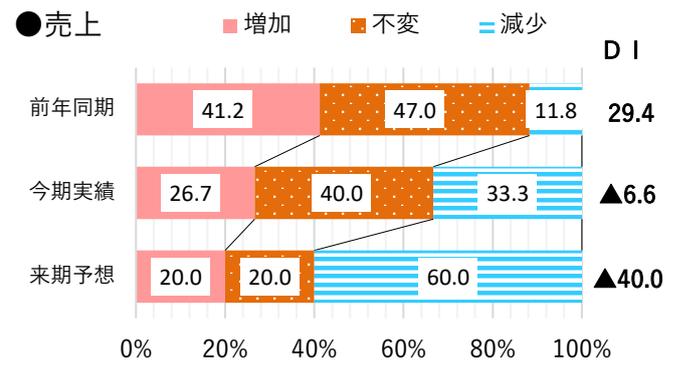
今期（2025.10～12）の業況判断DIは▲6.7で、前年同期（2024.10～12）と比べ30.2ポイントと大幅に低下しました。

来期（2026.1～3）の業況DIは今期（2025.10～12）と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



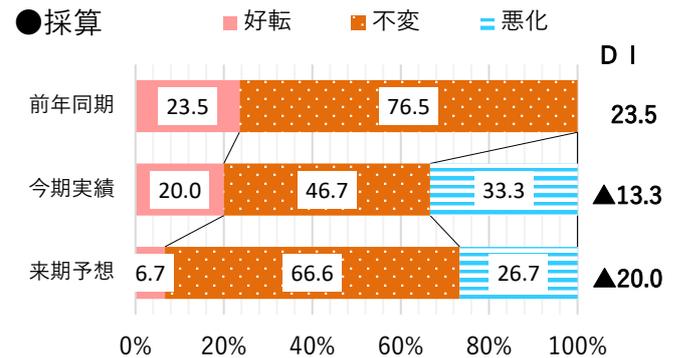
今期の売上DIは▲6.6で、前年同期と比べ36.0ポイントと大幅に低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ33.4ポイント低下すると予想しています。

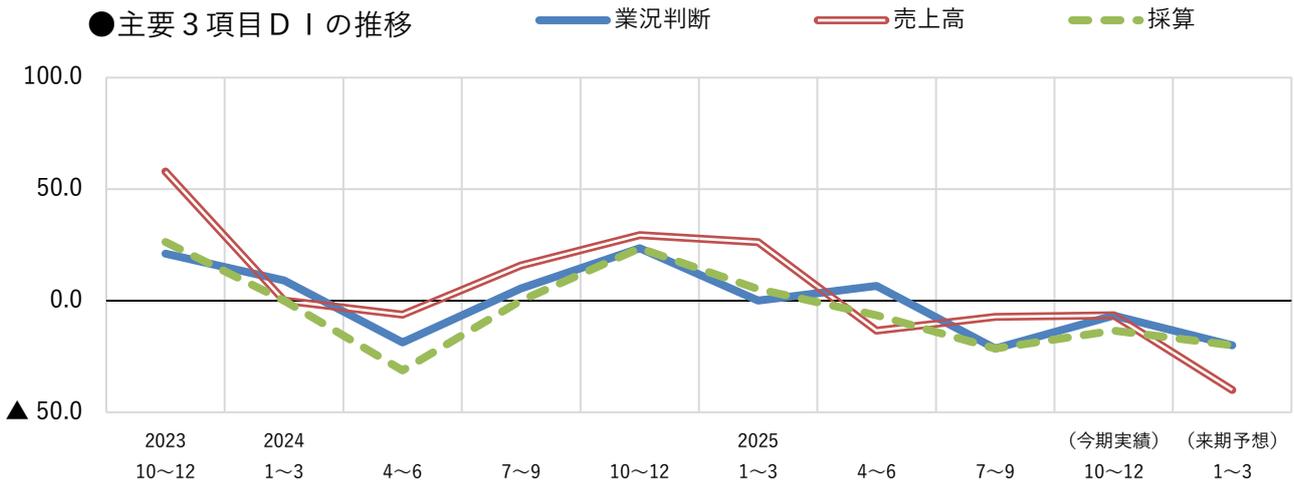


今期の採算DIは▲13.3で、前年同期と比べ36.8ポイントと大幅に低下しました。

来期の採算DIは今期と比べ6.7ポイント低下すると予想しています。



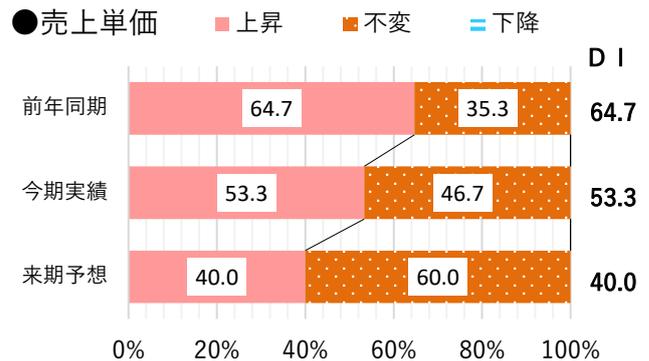
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

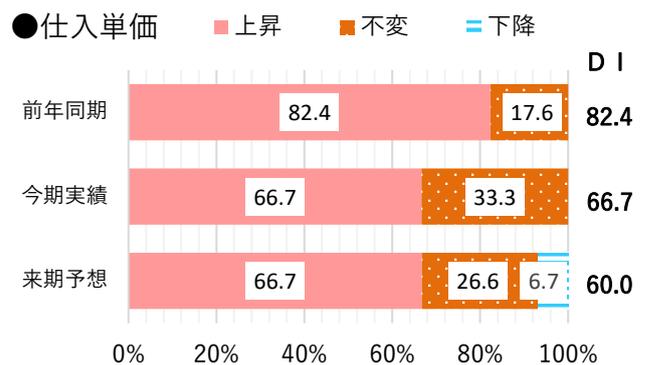
今期の売上単価DIは53.3で、前年同期と比べ11.4ポイント低下しました。

来期の売上単価DIは今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



今期の仕入単価DIは66.7で、前年同期と比べ15.7ポイント低下しました。

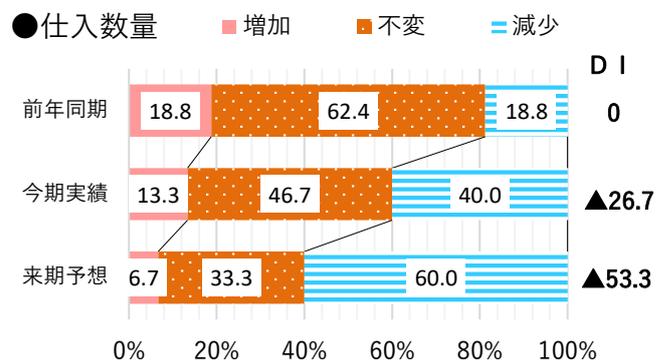
来期の仕入単価DIは今期と比べ6.7ポイント低下すると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

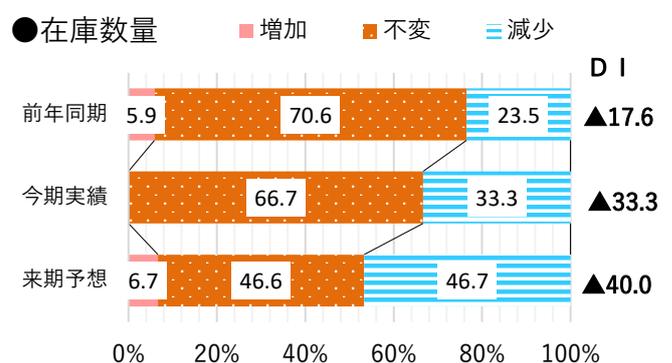
今期の仕入数量DIは▲26.7で、前年同期と比べ26.7ポイント低下しました。

来期の仕入数量DIは今期と比べ26.6ポイント低下すると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲33.3で、前年同期と比べ15.7ポイント低下しました。

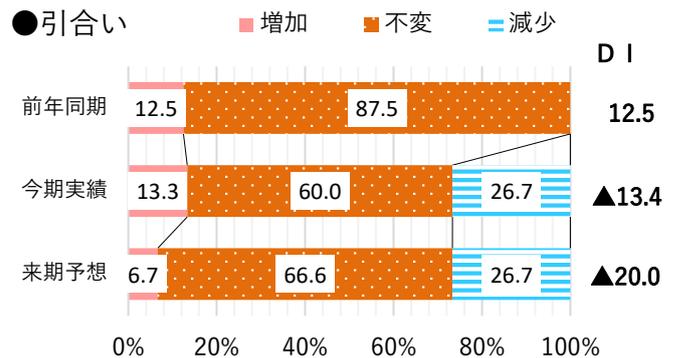
来期の在庫数量DIは今期と比べ6.7ポイント低下すると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは▲13.4で、前年同期と比べ25.9ポイント低下しました。

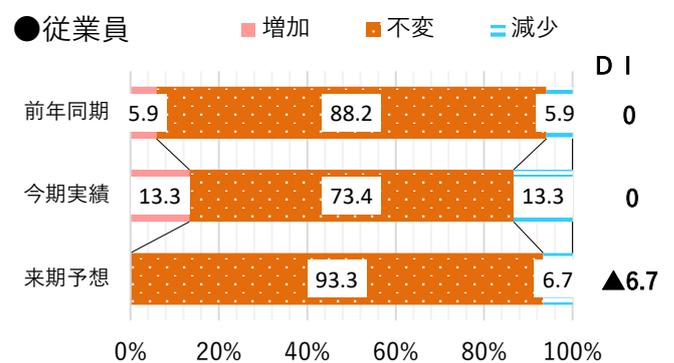
来期の引合いDIは今期と比べ6.6ポイント低下すると予想しています。



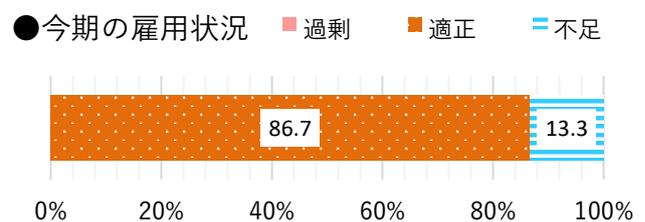
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0で、前年同期と比べ変化なしとなりました。

来期の従業員DIは今期と比べ6.7ポイント低下すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は86.7%、不足していると回答した企業の割合は13.3%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、66.7%を占めました。

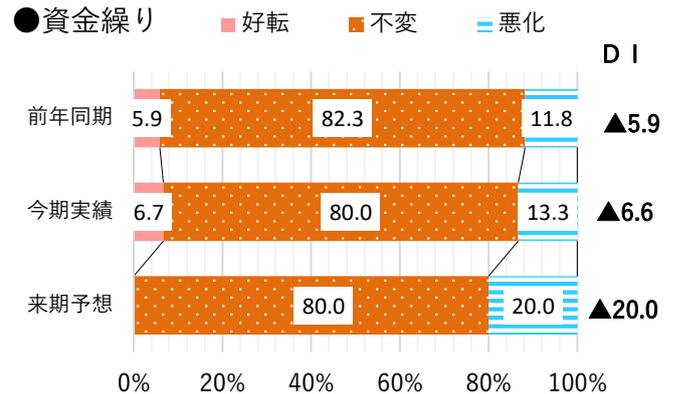
従業員数変化	雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	13.3%
	不足	0%
不変だった	過剰	0%
	適正	66.7%
	不足	6.7%
減少した	過剰	0%
	適正	6.7%
	不足	6.7%

※回答総数15社

資金繰り、設備投資

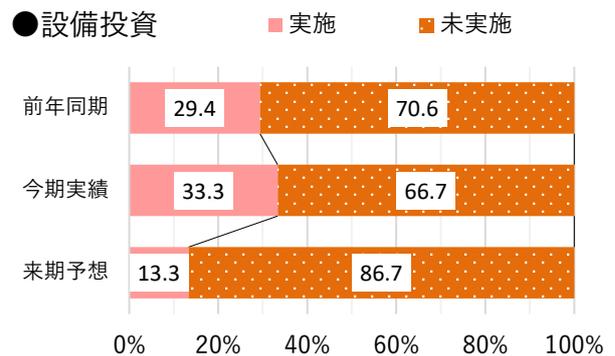
今期の資金繰りDIは▲6.6で、前年同期と比べ0.7ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ13.4ポイント低下すると予想しています。



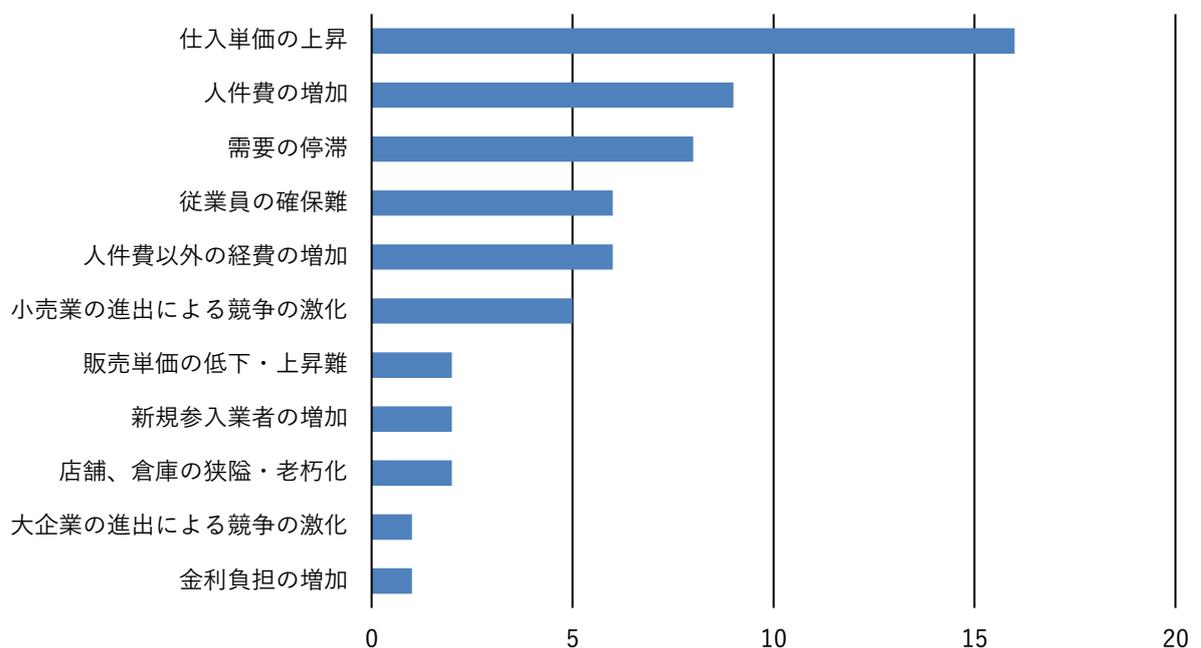
今期の設備投資は33.3%が実施と回答し、前年同期と比べ3.9%上昇しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「OA機器」でした。

来期は13.3%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「需要の停滞」の順となっています。



企業の声

[今期の業況について]

- 上期の売上は大阪万博の影響で減少し、仕入単価の上昇分を価格転嫁しきれず、最低賃金の引上げに伴い人件費が増加した。(食料・飲料)
- 仕入価格が上昇している。(食料・飲料)
- 値上げにより、売上と仕入はともに上昇し、パートを1名採用した。(建築材料)
- 仕入単価、OA機器の使用料、工料などの上昇と従業員の不足があった。(自動車部品)
- 今期はパソコンの特需があり売上が増加した。(事務用品)
- 価格の高止まりにより販売量が減少し、今期は繁忙期がないまま終了する見通しである。(鉱物・金属材料)

[来期の業況について]

- 来期以降も、仕入価格の高騰や人件費の増加、水道光熱費などの負担が続くと思われ、金利の上昇も追い打ちとなり、業況の好転は見込めない。(食料・飲料)
- JRTTの工事現場の終了は進んでいるが、泊発電所関連工事が増えてくると思う。(建築材料)
- 今期の業況と同様と思われる。(自動車部品)
- 来期は例年通りに戻ると思う。(事務用品)
- 来期も引き続き苦戦が続く見通しである。(鉱物・金属材料)